音楽のようこびぴ

京響メンバーによる大人の音楽教室 2019. 3.25
発行・文責 担当事務局 田中正崇 N.T
No.10 (16)

美しいものは、それに代わって、わかとさせざるをえない…(中略)…もしそれを回避の状態というのであれば…この二つの概念にはがまんはおこらなかった。その一つは、登場する女の…初日の衣裳は、それには限りなく美しく…世界全体の重みにも匹敵する。……もう一つの概念は、あの引き金の時にきこえる種の音楽である。戦時中の記憶喪失で、疑と苦悩、あの時それの世界の全体となった。またある時、ヴォルフガング・モーツァルト・Mozartとが、それの全体の完全な関係をよびおこした事柄である。今、個にそれを重しという。……終結……　加藤周一「美について」――私風・夜百話――(1978年)より

…もう一年たってしまいました……

4月.ヴィオラ(金平さん)、5月.フルート(中川さん)
6月.チェロ(後迫さん)、7月.ホルン(小椋さん)
8月.ファゴット(首藤さん)、9月.チューバ(武貞さん)
10月.ヴァイオリン(オクノさん)、11月.コントラバス(神吉さん)、1月.バストロンボーン(小西さん)そして今回、3月は、打楽器、中山さんで一年をしめくくります。オーケストラで打楽器といえば、皆様、何をイメージされるでしょうか、ティンパニーは、はずせませんよね。でも決して、それだけではない!!という事を昨年度私達は、知ってしまったのでした。マリンバとヴィブラフォンの二重奏_リズムのおもしろさ、神ワザの様なすばらしいパフォーマンスに圧倒されましたが、昨日のようです。さて今回は…どうなるのでしょう、ワクワクしますね。

♪

この一年間、京響の皆様からは、どの回も、最高のパフォーマンスで、音楽を受講者に届けるのだという演奏家としての喜びと、語りのようなものを私達は感じてはいました。演奏とおはなしの二つを通じて、その事は、私達聴く者に豊かに伝わり、受けとめ、感動を共にする事ができたのではないかと思うのです。「美的に感得された純粋な現在」…が音楽であるとは、ヘルマン・ヘッセ(H. Hesse)の言葉ですが、その様な世界を私達は、この一年、10回にわたり、経験できたのではないかと思うのですが、いかがでしたでしょうか。

この一年、御参加いただきありがとうございました。来年度も受講される皆様、新しい受講生さんも交え、また楽しみましょう。今年度で、「一区切り」という皆様、これまでの受講経験を力に、楽しいミュージックライフをつくっていっていただけると、うれしいです。ありがとうございました。心から…♡

～ちょっと予習しましょうか～

昔、(だいぶ前だよね…)学校で教わったのは、音楽は…「メロディー(melody)」と「リズム(rhythm)」そして「ハーモニー(harmony)」の3要素からできている。(その他、強弱(ダイナミクス)や速さ(テンポ)、はたまた曲想とかいうのもあるようですが…)

やっぱり打楽器は…

…今年度のラストを飾るのは…

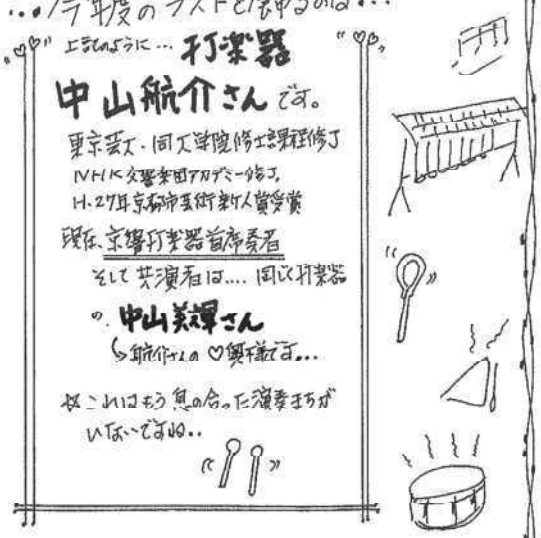
上記のように…**打楽器**

中山航介さんです。

東京藝大・同大学院修士課程修了
N響に交響楽団アカデミー修了
H.27年京都市芸術新人賞受賞
現在、京響打楽器首席奏者

そして共演者は…同じ打楽器の、**中山美緒さん**
↳航介さんの♡奥様です…

なにこれはもう息の合った演奏まちがいなしですね…



rhythm(名)
リズムかな!! もちろん、メロディーを奏するマリンバ、ヴィブラホンもあるし昨年度はその二重奏に酔いしれましたが…。

♩を一拍とすると ♩ ♪ ♫ ♪ とか、タンタン タタン とか、

タタタ とか ♪♪ ♫ とか、タッカ タッカ とか、

休符も ♩とか 𝄽 とか、♪ とか、タタ とか、タナ とか、

更にあつかい、でもミリョウ的なリズムが山ほど…です。

…クルッ、ぷいか、マブハル、マーラー、ぶらは、いぶチ…

ヒにかく打楽器奏者はいくつもいくつもの楽器を全て、演奏こなすのです。ティンパニー、シンバル、大太鼓、小太鼓、トライアングル、カスタネット、タンバリン、マラカス、ウッドチャイム、ゴング、ボディパーカッション、その他いろいろ…、スゴイ!!

前回の小西元司さんのバストロンボーン？

ニヤ田さん、手谷さん、西川さんとのトロンボーンの競演よかったですね。ちょっとだけ、ふり返りを…

前半は、1557年生まれのジョバンニ、ガブリエル(ヴェネツィア楽派の頂点の人)のソナタ、最初のお話しから、おどろく程のやわらかい音、宗教音楽の作曲者らしいあたたかみある四重奏、トロンボーン様な音楽…でしたね。

・トロンボーンは15世紀から、ほぼ原形をほぼ今日に到した楽器、スライドを使うので、当時のナチュラルやトランペットに出せなかった音階がOK、そして合唱をサポートして来た(オルガンのない教会で)歴史があること…。

・アルト・テノール、バス、コントラバスの四種がある
古きバルの人々…管の太さがバラバラ、交ざり音
ロータリバルブで行かない…
バス…変ロ
コントラバス…八重調、ロータリバルブ2つを使い更に低い音域へ

☆オーケストラの中で…

・モーツァルト「レクイエム」キリエ エレイソンの中で合唱パート、その他のミサ曲で使用 演奏
・ベートーヴェン 交響曲第9番 第4楽章にはじめて使用 演奏
〃 〃 〃 はじめてバストロ、独立して使われ男性合唱と同じ音で、もちろんアルト、テノールも
・ワーグナー 楽劇「ラインの黄金」最後の音楽「ワルキューレ」有名なメロディー「ジークフリート」「神々のたそがれ」で使用
・ショスタコーヴィチ 交響曲8番(ヴィクレード)…ソロ(主役級)…ミリョウ曲 オケ全奏時 中間部四つの音でおどろく主題 最高部で力強く。 我々の音と!! } 使用、いい意味で使い方をしている。
・ブルックナー 交響曲第3番 第1楽章の第1主題 4/4の冒頭よびだしレ。
・G.マーラー 交響曲2番「復活」5楽章コラール。
〃 6番
〃 8番
テノール、バス2本ずつ、ホルン4本、トランペット3本、合唱の人数は…いくらでも変わる。
・R.シュトラウス 交響詩「ツァラトゥストラはかく語りき」冒頭 ドドシ ドソドシ
・ドビュッシー 交響曲「海」第1楽章 冒頭 ドシラソ ファミレド
・ベルリオーズ 幻想交響曲 第2楽章 途中、踊るようなメロディーの somewhere
・ブラームス 交響曲1番 第4楽章 冒頭 ドレミファ ミファソラ
・ブルックナー 交響曲4番 第4楽章 冒頭 ドソドミ ソラシド
・ベートーヴェン 交響曲5番 第3楽章 冒頭 ソソソミ ファファファレ
・ベートーヴェン 交響曲9番 第4楽章 冒頭 レレファソ ソファミレ
・ベートーヴェン 交響曲3番 第1楽章 冒頭 ドミソドミソ ドミソドミソ

前半終了

後半は ベートーヴェン「エクアーレ」から…
(「同等」と…ライプニッツのラテン語。ベートーヴェンがそれとなく当時愛妻家だった事をかけた。)
美しく荘厳な曲でしたね!!
※神的楽器…もはや、人間じゃないと思えても良い、ロマ音楽、悪魔とか…
・スティーブルフェルスト(オランダ出身)の「悪魔のカバンの二重奏」
・ブルックナーの「モテット」(ミサ曲以外の宗教曲)2曲
・アントマジの(2012プラハ)「ハムレットのモノローグ」…孤独感タップリ!!
↳ミュート(弱音器使用)
・スライドハンプソン伴奏 セロニアスモンクの「ラウンドミッドナイト」

「思い放題すぎて…曲が多すぎました。目立ってはいけない楽器だと思います。」

アンコールは アーサー・プライアーボール、ポップ調曲「ビギン」でした。

ウラもどうぞ ⇒

4月8日は、入学式です。

一部は、京響見習い校長の入学生の皆様への歓迎ごあいさつがあります。二部は14時から、入学を祝う京響団員による歓迎コンサートとなっております。京響、金本さんから下記のプログラムでやりましょうという提案が来ています。いずれも出発にふさわしい落ちついた曲だと感じております。

＝プログラム＝

・モーツァルト ディベルティメント(嬉遊曲)Kv136
・シューベルト ピアノ五重奏曲(ピアノ四重奏曲)イ長調「鱒」
・テレマン ヴィオラ協奏曲ニ長調より

そして、ヴァイオリン、チェロ、コントラバスのソロ曲もおはなしも交えて演奏するとの事です。

演奏者のお名前は…
ヴァイオリン オクノ仁美さん、ヴィオラ金平満子、チェロ石川聖子
コントラバス 神吉直正、ピアノ、北川裕佳子の皆さんです。

どうぞ、お楽しみに……

13時会場 13時半開式
京文化芸術会館

トロンボーンだけで、ここまで聴かせるアンサンブル、とても良かったです。ワグネリアンとしては、リングの4曲が聴けて嬉しかったです

モーツァルトからワーグナーまでのオーケストラ曲からの抜粋を拝聴して、音楽史におけるトロンボーンの役割がよくわかりました。しばらく複雑に発展してきているのですね。シューベルトの"グレート"が好きなので、メロディーを連想しながら聴いていました。「ワルキューレ」とミュンヘンで観賞しましたがやはり良かったです。

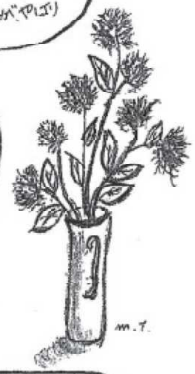
順序よく解説されてよりにカワイい音から、やわらかい音まで出すには…(ビックリ)

この一年アンコールありがとうございました

トロンボーンの音色は、おごそかな感じがします。
神の楽器、人間ではないということがよくわかりました
悪魔のワルツは楽しかった
ハムレットの孤独感はこわかった
トロンボーンのみを聴ける楽しい時間でした

すばらしい!! 4種類のトロンボーンによるアンサンブル、よかったです
トロンボーンって色々あるんですね。先生の説明がわかりやすくてよかったです。
(音質 大きさ、長さ 表現など)

フェルハルストの曲がとても良かった 新鮮
やっぱり近代の曲は音がおもしろいね



(前も)とてもお利口!! オケ曲からの抜粋も交って「あれ、あそこでバストロンボーンが活躍していたのか!?」と認識を新たにしました。

毎回、中味の濃い講義で今回も楽しく聞かせていただきました。楽しいのと勉強になるのと両方なので、素晴しい講座だと思います。来年度も楽しみにしております。 いつもありがとうございます。感謝の気持

オーケストラの演奏を聴いてトロンボーンの音を聞き分けるのは私にはできないので、トロンボーンだけの音楽をたっぷり聞けてよかったです。それからトロンボーンは何となく近代の楽器と思っていたのですが、ルネッサンス期からの楽器といわれ認識を新たにしました。それにしても音楽は無限で、音楽の力は何て大きいことかと思いました。トロンボーンを本日のテーマに選んでもらいうれしいです。また、四重奏であったのも大変よかったです。

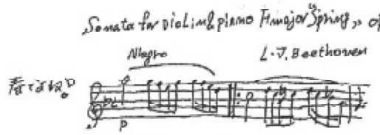
前半 オーケストラの中どの役割りが順を追って紹介されたのが興味深かった。モーツァルトのコラールとワーグナーでは、まるで別の楽器のようでおもしろかった。コラールの響きがスキ?

後半 いろいろの音色と表現が楽しめました。悪魔のワルツがいいですね。

余りなじみのない楽器について歴史から詳しくわかりやすく説明をきいてコンサートへの期待が、大きくなりました。
今では、さりげない話し演奏 すばらしい。息使いまで聴いて。 いつもでしゃばりにお世話いただいていることがわかるような講義に見えます。ありがとうございます。

来期一年1回は、5月20日(月) ほぼ3:0 開始
ヴァイオリン・ヴィオラ デュオ (鴨池会館)
オリエ洋子、金本洋子のWヨーコの演奏です。
(3月末までにこの文を書くこと 10日前にはかいてください)

memo



この季節この「スカイブルー」が好き、さわやか!!
天気のふぶきもいいけれど…。
M. Tanaka